

子どものトータル・アレルギーケア

食物アレルギー、気管支喘息、アトピー性皮膚炎などのアレルギー疾患は発症頻度が高く、近年増加傾向にあります。子ども本人だけでなく家族全体のQOL（生活の質）を低下させ、社会的問題となっています。それぞれのアレルギー疾患は合併することが多く、病態が相互に深く関連しています。すべてのアレルギー疾患を隔たりなく一緒に治療することでより良い治療効果が期待でき、「トータルアレルギーケア」の提供が望まれます。最近では副作用がほとんどなく症状を抑える治療ができるようになり、「症状に悩まず上手に付き合っていく」ことを目指せる時代です。

当院にはアレルギーでお困りの患者さん・ご家族が、北九州市内だけでなく遠賀・中間・直方・宗像地区からお越し頂いています。私たちは患者さん・ご家族の悩みに真摯に向き合うため、小児アレルギーの専門外来を設け、3人のアレルギー専門医が診療しています。

また、医師だけでなく、看護師・管理栄養士・薬剤師にも専門的なアドバイスができる「アレルギー疾患療養指導士」の資格を持ったものが複数人おります。多職種で連携を深めてより良い医療が提供できるよう日々努力しております。

食物アレルギー診療をより細やかに実施するには「食物経口負荷試験」が必要不可欠です。北九州二次医療圏には約93万人の患者さんがいると言われてはいますが、食物経口負荷試験を実施出来る医療機関は限られています。当院の特色の一つですので、食物アレルギーでお困りの方がおられましたら、どうぞお気軽にご相談ください。

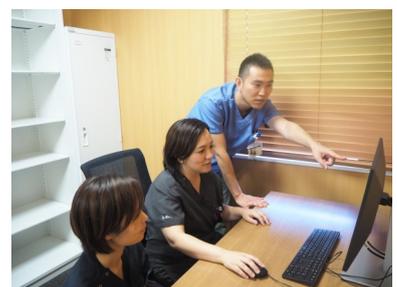
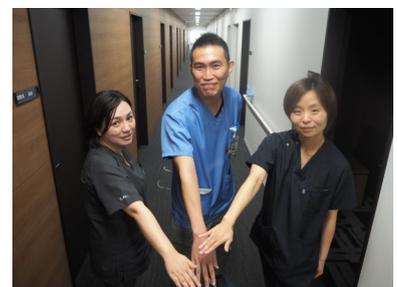
小児アレルギー外来担当の アレルギー専門医 紹介



おの かよ
小野 佳代

おき たけし
沖 剛

なかの たまな
中野 珠菜



取り扱う主な疾患

■ 食物アレルギー (Food allergies)

原因食品を正確に診断し、必要最低限の除去が原則です。そのために食物経口負荷試験を積極的に行っています。食物経口負荷試験は診断だけでなく、どのくらいの量の摂取が可能か判断するのにも役立ちます。年齢とともに食べられるように促すための摂取練習へつなげ、食事の幅が広がることを目指しています。

特徴

- ・栄養士による指導で、アレルゲン除去食による弊害の解決を心がけています。
- ・年間約400例の食物経口負荷試験を実施、ハイリスク患者の対応を行っています。

■ 気管支喘息 (Bronchial asthma)

昼夜を通じて症状がなく、呼吸機能も正常化し、スポーツを含めた日常生活を普通に行える生活を目標にします。そのためには基本的病態の持続する気道炎症を抑える治療が重要です。最終的には成人に向けて寛解・治癒を目指しており、早期診断・早期治療を行い、年齢やライフスタイルに合わせて長期にわたり患者さんと付き合っていきます。

特徴

- ・患者さんにメリットのある最新の治療法を提供します。最新治療薬である生物学的製剤の導入も行っています。
- ・客観的な情報を集めるための肺機能・呼気NO検査を積極的に行い、医師・患者家族の双方にわかりやすい診療を心がけています。気道過敏性検査（吸入誘発試験・運動負荷試験）も実施可能です。

■ アトピー性皮膚炎 (Atopic dermatitis)

効果と安全性が証明されている「標準治療」を行います。また、アレルゲン二重曝露仮説で言われる経皮感作を最小限にするため、早期介入を心がけています。

特徴

- ・スキンケア教育入院で、適切な外用方法・スキンケア法を患者家族へきめ細やかに指導しています。
- ・最新治療である生物学的製剤の導入も行っています。

■ アレルギー性鼻炎／花粉症 (allergic rhinitis／Hay Fever)

鼻炎症状に伴う集中力低下や睡眠障害が問題となります。積極的な治療により生活の質の向上を目標にします。また、スギ花粉症およびダニアレルギー性鼻炎の根治を目指した舌下免疫療法も行っています。